

向陽小だより

相模原市立向陽小学校
学校だより R8.8.25

8.9 月号



<http://www.sagamihara-koyo-e.ed.jp/>

環境の変化を意識した教育活動を

学校長 水野 正人

子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。無事に新学期を迎えられたことを大変嬉しく思っております。夏休み中、お子様の昼食の準備や規則正しい生活へのご配慮など、ご家庭でのご苦労も多かったことと思います。温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

今夏は、熊本や千葉をはじめ、全国各地で甚大な災害が発生いたしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、学校におきましても児童の安全を最優先に防災体制の強化に努めてまいります。ご家庭におかれましても、非常時の連絡方法や避難場所について、折に触れてお子様と話し合っていただくと幸いです。

さて、夏休み中に外で遊ぶ子どもたちの姿をあまり見かけなくなったと感じるのは私だけでしょうか。かつては夏休みとなれば、近所の友だちと屋外で走り回って遊ぶ姿が日常でしたが、近年の気象状況やデジタル機器の普及などにより、子どもたちの過ごし方は大きく様変わりしていると感じます。

文部科学省が示す「令和の日本型学校教育」の指針においても、これからの時代を生きる子どもたちには、ICT等の活用だけでなく、「多様な他者と対話し、協働しながら学ぶこと」や「豊かな実体験」が欠かせないとされています。デジタル化が進み、対面での関わりが希薄になりがちなのだからこそ、私たち大人はこうした変化に敏感になり、子どもたちが人と直接関わり合い、心を通わせる機会を大切にしていかなければと感じております。

2学期は運動会や遠足など、人と直接関わり、友だちと考えを出し合いながら学びを深める行事が数多くあります。こうした体験を通して子どもたちが大きく成長できるよう、教職員一同力を尽してまいります。保護者の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

